

令和2年度 第3回仙台市泉区区民協働まちづくり事業評価委員会 議事録

日 時：令和3年3月9日（火）14:20～17:20

場 所：泉区役所本庁舎5階 510会議室

○出席者

・評価委員

岩動志乃夫委員長，佐藤重子副委員長，田中秀夫委員，高橋文太郎委員

・事務局

泉区まちづくり推進課

1 開会

(1)事務局より，以下の2点について報告

- ・ 令和2年度泉区まちづくり活動助成事業の対象団体となっていた，やまわ会について，新型コロナウイルス感染症の影響により事業の実施が困難となり，令和3年2月1日付で中止届の申請があったことから，本日の事業報告団体には加えていないこと。
- ・ 同様に助成対象団体となっていた，特定非営利活動法人子育て支援アシスト・エフワン及び泉地域交流イベント実行委員会については，新型コロナウイルス感染症の影響により，事業実施前に助成金申請の取り下げ届があり，今年度の助成を行っていないことから，本日の事業報告団体には加えていないこと。

(2)議事録署名委員について，佐藤委員を指名

2 令和2年度仙台市泉区まちづくり活動助成事業 事業報告会 及び令和3年度 事業計画説明会【公開】

(1)事業報告及び事業計画説明

各団体資料の通り説明。

(2)質疑応答・意見等

①団体名：BalletoneERI（バレトンエリ）

<事業報告>

事業名：みんなで育てる「泉区の」子育て応援

委 員 コロナ禍の中でいろいろ工夫されて実施してご苦労様だった。これから新しいフェーズへ移るとなっているがお金はどこから調達するのか。

説明者 mamaBEonline というサイトを立ち上げたおかげでこちらに掲載したいという企業が出てきており，協賛を得ることができた。現在，仙台銀行から助成金をいただいているほか，みやぎ生協のスマイル基金から

も資金をいただいているため、資金面については来年度も継続していくことができると思う。

内容に関しては、今まで未就園児のお子さんを孤立させないように支援していたが、小学校に入ると親も子どもに対して学習面や生活面をフォローしていかないといけないという局面になってくるため、小学生のお子さんを持つお母さん達も支援していかなければならないと考えている。

委員 instagram をみたところ、すでに多くのフォロワーがおり、非常に素晴らしい成果だと思う。ホームページや協賛がついたということは堂々と成果達成として載せられるところだと思うので、ほかの事業の見本となるような報告にしていただければと思う。

②団体名：SMILE FES 実行委員会

<事業計画説明>

事業名：SMILE FES

委員 とても良いイベントを今年も予定しているようだが、新型コロナウイルス蔓延対策はどのように考えているか。

説明者 昨年の開催から仙台市の発表しているガイドラインに沿って実施している。まず受付をしていただき、その際に名前と連絡先、お子様がいる場合は学校や幼稚園等の連絡先を書いていただくようにしている。主要のブースには消毒液設置しているほか、出店者にはボトルで渡してこまめに消毒していただいている。私たちが担当しているくじ引きのブースでは手袋を準備し、こまめに換えていただいている。休憩スペースもテーブルがあるのでこまめに拭いており、ひと家族でひとテーブルの使用をお願いしている。そのほか、独自の方法でおてポンというシャチハタ製の手洗い練習用のスタンプというものが市販で販売されているため、受付が終わった方に対し、手の甲にハンコを押させていただいて、お家で楽しく手洗いをしてくださいと声がけをしている。

委員 昨年度も実施したということで多くの企業から協賛をいただいていたようだが、今年も協賛はあるのか。また、ストリートピアノを予定しているということだったが、調達はどのように考えているか。

説明者 協賛については、4月29日開催予定のイベントで企業からお問合せを何件かいただいている。ストリートピアノについては、ピアノの管理や運搬方法のほか、資金力がないと難しいということで、その代わりに仙台スマイルコレクションというキッズファッションショーを実施することとした。

委員 今のところ企画費用で26万円を予定しているが、こちらの使い方は主に抽選会の商品ということでよいか。

説明者 抽選会の商品は昨年も協賛や後援の企業から提供していただいた。それ以外にくじ引きや来場者プレゼントも用意しており、その購入資金になる。

委員 今後、協賛金をどのように集めていくかということだが、継続して実施していくためには、飲食店に出店していただいて出店料をいただくと

いう運用の仕方もあると思う。この助成金以外にどのように成り立っていくのかも併せて計画を作っていただければと思う。

③団体名：NPO 法人地域生活支援オレンジネット

＜事業報告＞

事業名：くらしの保健室事業

委員 地区社協と連携していくという考えはあるか。

説明者 南光台地区社協ができて3年になる。2万4千世帯がある地域でやっと立ち上がって、今地域福祉推進員をさせていただいている。その推進事業の中にこちらの事業をはめ込み、私たちが学んだことを地区社協の方に伝えて地区社協の方でも活用していただくような流れにしている。お金の部分については、何にどう使うかというのはこれからの課題である。

＜事業計画説明＞

事業名：くらしの保健室事業

委員 昨年に続いての申請ということで、前年度はどれくらい参加者が上積みされたのか。

説明者 私どものサロン事業は月曜日から金曜日まで行われている。看護師一人だが毎週訪問してくださっている。1日のサロン利用者が20名ほどである。私どもの団体の勉強会を開いており、毎月15名から20名ほどのメンバーが集まるが、その時に専門職の方がきてくださり、地域住民へ向けてのどのようなテーマでどのような話をするかという助言をいただいている。

委員 今後の流れとしては、同じ方に繰り返し参加していただく形とするのか新しい方をどんどん取り込んでいく形にしていくのか。

説明者 昨年度はコロナの影響もあり、不特定多数の方をお入れするのは慎重にしていきたいということで、リピーターの方が多かった。先ほど委員から地区社協の連携の話もいただいており、私どもも地域の方に出前でくらしの保健室をしていこうということで、専門職の方にもうちのサロンだけでなく、地域全体が健康になってもらうためにボランティアも募りながらしていきたいと考えている。専門職の方も地域デビューしたいとのことだったので、地区社協と連携させていただき広めていきたい。

委員 Facebook やホームページで情報公開していくということだったが、いかに参加者や団体の支援者を増やしていくかということを上手く検討していただかないと、どうしても助成金頼りになってしまう。どのようにして今後続けていくのかということを検討していただければと思う。

④団体名：南中山中学校区住民活動サポートチーム「Mサポ」

＜事業計画説明＞

事業名：「南中山中学校区・地域の担い手育成事業」

委員 今、小学校などでは横の繋がりができても縦の繋がりがなかなかできない。同じ世代の子達と遊んでも先輩と後輩との繋がりがなければ次世代への継続が出来なく、ひいては社会に出たときに先輩と後輩との繋がりが無いという新社会人が出てくる。なので、子ども達が住んでいる地

域からそういった支援がなされると自分たちは注目されているという意識が芽生え、その意識が地域への愛着へ繋がっていくと思う。中学校の卒業カフェのような活動を継続して、小学校時代には経験がないが、中学校に入ってそのところを意識していただいてという活動は素晴らしい活動だと思う。資料を拝見して思っていたが、活動の中で一番困っているところはどのようなところか。

説明者 どんなに頑張ろうとしても地域の活動をしている町内会の皆さん側の人間と私が捉えられてしまい避けられてしまう。私は中学校の PTA 会長を経験しているが、私が先頭に立つて行うことで逆に人と繋がるのが難しいと感じているので、いかに私ではないメンバーが地域と繋がってもらえるかが肝心と感じている。

委 員 今回はリメイクして発行するとのことだが、これは反響があまりなかったからか。

説明者 南中山の子ども会を解散するということにみんなの不安があった。この不安を解消する材料がなにもなかったため、私たちが継続してサポートするというメッセージを出したいと思い新聞を発行したが、いざ始めると誰も相談してこなかった。なので、役員だけでなく、広く住民に知ってもらうことで違うアプローチから仲間を作れるのではないかという思いがあった。

⑤団体名：一般社団法人地域舞台創造 I' M s

<事業計画説明>

事業名：地域発・文化芸術の発信！

委 員 これまではどのような収入で賄っていたか。

説明者 基本的にはチケット収入のみである。助成もなかなかいただけるものではなく、とにかく一枚一枚手売りでチケットを買っていただきながら 25 年やってきた。

委 員 地域の皆さんと作り上げるということだが、主に出演者として参加していただくことだと思う。今回企画しているのは仙台市民の方どれくらいの方に参加していただいて実施していく予定なのか。

説明者 我々のスタジオは 55 名の方に参加していただいている。ほぼ泉区民の方々だが、その方々と別の地域からの文化的な交流も踏まえて参加してくださる方もいらっしゃるかなと思う。

委 員 この企画趣旨からすると本来ならもともと所属しているメンバーのほかに一般市民の方を巻き込んで構成するのではと思った。

説明者 実は、私たち 25 年の活動のうち 15 年前から一般市民の方々に舞台ごとに参加者を募っている。今回も泉区に限らず周辺の方にも広報を広めてできるだけこういう創作活動をいろいろなタイプの方々に参加していただければと思う。10 年前に東北福祉大学に呼んでいただいた際は 80 代の方にもこの事業に参加していただいた。大体このように毎回一般市民の方を募りながら活動が続けていきたいと思っている。

⑥団体名：七北田宿研究会

＜事業計画説明＞

事業名：「七北田宿ガイドボランティア」養成講座実施事業

委員 ガイドボランティアはどのような方が担当しているのか。

説明者 仙台城のガイドボランティアなどをしている人などである。

委員 今回ガイドボランティアの養成講座ということだが、ガイドボランティアはどのような世代の方を養成されるのか。

説明者 シニアの方を中心に考えている。特に今、男性の方の関心が非常に高い。また、キャリアを積まれた女性の参加も期待している。

委員 地元の歴史に疎くなってきている人もいる。30代40代、場合によっては学生など、様々な世代に呼びかけていただければと思う。

⑦団体名：桂音頭を踊り隊

＜事業計画説明＞

事業名：桂音頭サルベージ&リビルドプロジェクト

委員 昔からある音頭を拾い上げて、みんなで地域を盛り上げようと復活したが、そこまで大変な苦労もあったと思う。頑張っていたかと思う。

委員 費用でDVD制作とあるが、撮影費用のみか。それとも学校等への配付費用も入っているのか。

説明者 DVDについてはインストラクションマニュアルのような形で配付しようかと考えている。なので、DVDの作成費用と撮影の費用である。

委員 DVD制作の15万円の予算で何枚くらい作成する予定なのか。

説明者 DVDについては一枚作ってしまえばダビングできるので、小学校や町内会に相談しながらやっていきたい。DVDをYouTubeなどに掲載しようかと話もあったが、情報が世界中に拡散されるため、個人情報の問題がある。どの範囲まで行うかは個人情報の関係の中で考えていきたい。

委員 DVDの配付範囲はどのくらいか。

説明者 まずは連合町内会の範囲内で配付したい。それからお互いの情報交換のために、できれば六郷市民センターへ配付も考えている。そのほか、まちづくり推進課などに配付し、このようなものがあると宣伝していただきたいと考えている。

3 令和3年度仙台市泉区まちづくり活動助成事業 選考評価【※非公開】

※公にすることにより、率直な意見の交換や意思決定の中立性が不当に損なわれるなどのおそれがあるため、非公開会議として実施した。

◇評価委員意見

①団体名：SMILE FES 実行委員会

事業名：SMILE FES

(ア) 令和2年度も新型コロナウイルス感染症の影響下において、工夫しながらイベントを実施したことを評価する。

②団体名：NP0 法人地域生活支援オレンジネット

事業名：くらしの保健室事業

- (ア) 地区社協でもサロン会などを行っているので、一緒に行うとさらに幅広く地域に貢献できると考える。
- (イ) 講師料についても、地区社協と半分ずつ支出するなどの工夫することで出費を抑えることができると考える。

③団体名：南中山中学校区住民活動サポートチーム「Mサポ」

事業名：「南中山中学校区・地域の担い手育成事業」

- (ア) 小中学生は同学年の繋がりが多いが、先輩・後輩などの縦のつながりが希薄化している。そのような中で、卒業生カフェの実施により多くの年代と触れ合える機会を学生に与えるのはとても有意義なことと考える。
- (イ) やまやま新聞について。SNS 配信のツールに、instagram や facebook など追加することで、新聞発行の印刷費を抑えられると考える。

④団体名：一般社団法人地域舞台創造 I' Ms

事業名：地域発・文化芸術の発信！

- (ア) 劇団を設立して以来、会費及びチケット収入等で活動が続けられており、とても自立した団体であることから、本助成金の必要性が薄いと考える。

⑤団体名：七北田宿研究会

事業名：「七北田宿ガイドボランティア」養成講座実施事業

- (ア) 小中学校の子供からシニア世代の方まで、幅広い年代の方々を対象に、泉区の歴史を伝承するのは社会貢献の意義が大きいと感じた。

⑥団体名：桂音頭を踊り隊

事業名：桂音頭サルベージ&リビルドプロジェクト

- (ア) 事業がとても有意義で、支出額も妥当なものと考ええる。
- (イ) 桂地区には商業施設が多くあり、DVD の映像に広告協賛を付けるなどの工夫でさらに収入を増やすことができると考える。

4 閉会